（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所　糸ぐるま大泉教室

公表日　　7　年　3　月　20　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		地域性もあると思いますが、事業所の数が不足しているため多くの利用者を受け入れなければならない。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		空間の構造化、時間の構造化など視覚的支援を重視しています。	玄関に段差があるためやや危険
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		余分なものは配置しないよう心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		パーテション等で工夫しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		療育については、ほとんど毎朝反省点と改善について話し合うよう心掛けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		家族支援や送迎時にお子様の様子についてお伝えするよう心掛けています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝会の際に機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者から意見を伺う機会は減税ありません。	近い将来団参者から意見を伺える機会が設けられればと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修については、職員の打ち合わせの際に必要に応じ研修の機会を設けたり、専門員会などの伝達研修、職場内研修の機会を設けてい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。		○	法人全体及び各事業所で研修を進めてきまっした。	3月には公表をするため準備を進めています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		最善を尽くして進めておりますが、地域性もあり問題があります。	ことばの壁があるため適切かと言われえると難しいところもあります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもに関わるできる限り多くの職員に検討会等に参加して頂いています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		いつでも閲覧できるよう、するよう伝えています。	ことばの問題もあります。理解できるよう通訳などにお願いしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		自閉症アセスメントシートやポーテージを発達段階の基準としています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれを意識し個別支援計画に反映しているつもりです。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的に検討会を開き検討を進めてきました。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個人のニーズや発達に応じいろいろな支援ができるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		両方の支援ができるよう工夫していますが、一部保護者の中には個別支援のみを希望する保護者がいます。	集団活動の必要性を説明しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝の打ち合わせの際に療育活動について話し合いの機会を設けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		翌日の時間を使って反省をし改善に努めています。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		指導記録として記録を保存しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者の都合によることはありますが、極力できるように心がけています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		声を変えて頂いた場合は参加していますが、企画している相談事業所がやや少ないようです。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保育所等訪問指導を行うことで情報交換がスムーズになりました。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問指導を行うことで情報交換の機会が増え、問題や改善策などについてはない会う機会が増えました。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		支援内容について定期的に話し合っています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。		○		センターとの繋がらりは希薄であります。今後機会があれば連携を深めたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の保育園に通園しtいる子どもたちが比較的多く在籍しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		共通理解に心がけ、問題についても対応しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援で対応しています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		心掛けていますが、ことばの壁があるため問題もあると思います。	通訳をたて理解して頂くよう心掛けています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		子どもの利益を優先することに心掛け取り組んでいます。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		心掛けているものの保護者の都合やことばの壁があるためどの程度理解されているか分からないところもあります。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時や必要に応じ家族支援の機会を設定し対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年に数回交流の機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		今後は実施したいと考えています。一部指導員がFACEBOOKなどで情報を流しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		心掛けています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮しているつもりです。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今年はバーベキュー大会、秋まつりなどの案内をしました。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		BCPや虐待防止、感染症予防等各種委員会の職員が中心となり研修、訓練を実施しました。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		火災２回その他災害２回の訓練を実施しました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者から情報を得て実施しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーについては保護者かr情報を得ることで適切な対応をしてきました。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全に心掛けるよう指示し互いに注意することの大切さを説明してきました。今のところ大きな問題は起きていません。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		SNS等で訓練のようすを伝えています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生した場合には記録をとるよう計画している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		動画等の視聴により研修を深めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		こちらもyoutubeなどで動画を観ることで適切な対応ができるよう心掛けています。	